

萩

2013/平成25年

8月15日

7.28 豪雨災害



編集・発行／萩市総務部広報課

〒758-8555 萩市大字江向510番地

TEL 0838-25-3178 FAX 0838-26-5458

ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>災害ボランティアの活動
(須佐・田万川)

7.28

須佐・田万川・むつみで 未曾有の豪雨災害!!

須佐で1日雨量350ミリの記録的豪雨!

1000世帯以上が住宅被害!

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

7月28日の記録的豪雨により、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の方々および被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

未だ経験したことのない、記録的な豪雨が萩市東部を襲いました。気象庁は、8月末に運用を予定している特別警報レベル、すなわち数十年に一度の重大な災害の危険があることを知らせる特別警報に匹敵するものと発表しています。

災害当初は、国道191号、国道315号など萩地域と須佐・田万川地域を結ぶ主要道路等がすべて通行止めとなり、多くの被災地が孤立する事態が発生しました。また、停電や諸設備の崩壊によりテレビや固定電話、携帯電話が機能せず情報途絶の事態も発生しました。また、上下水道などのライフラインも止まり、最悪の事態となりました。

このような中で、被災者の方々は、大変なご心労とご負担をおかけすることとなりましたが、自衛隊の皆様や県警の皆様、国・県の職員の皆様、関係機関・団体の皆さん、もちろん市職員も含め、懸命の努力により現在までのところライフ

ラインや交通関係の多くは復旧を図ることができました。

被災直後から災害救助法の適用、また、被災者生活再建支援法の適用も決まり、激甚災害の指定の見込みも公表されたところです。

毎日全国各地から多くのボランティアの皆さんが被災された皆様の救護活動のために、この萩を訪れ、具体的な活動に入っています。市と社会福祉協議会などで萩市災害ボランティアセンターを設置し、多くのボランティアの皆さんの登録をいただきました。毎日酷暑の中、多くの皆さんが泥の除去、ガレキ処理に従事いただいています。

また、被災された皆様を支援するため官民一体となった、萩市集中豪雨災害義援金募集委員会を立ち上げ、義援金の募集、救援物資の受付も始めています。

被災された皆様が一日も早く安全安心な生活を再建できることを願ひ、被災者総合相談窓口を設置しました。小川小学校、田万川総合事務所、須佐総合事務所の3カ所に設置し、土曜、日曜日も含め毎日、生活支援など各種相談に応じていますので、ご活用の際よろしくお願いいたします。

します。

市では災害対策本部を設置し、被災状況の把握に努めるとともに、災害派遣要請をはじめ土砂災害、浸水現場での人命救助、被災者支援など関係機関と連携して、災害復旧に全力で取り組んでいるところです。

最後になりましたが、皆様の生活が一日も早く再建できるよう、市職員一丸となって全力で取り組むことをお約束し、ごあいさついたします。

萩市長 野村興兒



西村康稔内閣府防災担当副大臣に
被害状況を説明する野村市長



須佐川 (28日正午過ぎ)

氾濫している須佐川の総合事務所付近。氾濫した水が民家にまで押し寄せている。



国道 191 号(28日)

萩地域と東部を結ぶ基幹道路である国道 191 号が須佐トンネル手前の登坂車線で崩落。懸命な復旧作業により 8 月 5 日から片側交互通行となった。



須佐中津交差点 (28日)

須佐川の氾濫により、池のような状態となった中津交差点。トラックが流され歩道に乗り上げている。



金山谷トンネル (28日)

国道 315 号の金山谷トンネル付近で大規模な土砂崩れ、流れ出た水が川ようになった。



須佐総合事務所前 (28日)

最大約 60cm の濁流が押し寄せた須佐総合事務所。夕方に水は引いたが、後には大量の泥が残された。



全壊家屋 (30日)

須佐川の堤防が決壊し、押し寄せた濁流等によって傾いた中津地区の住宅。

田万川地域



高岩橋 (28 日)

河川の増水だけでなく、近くの小川小学校のグラウンドからも濁流が押し寄せ、県道 14 号益田阿武線の高岩橋付近の堤防が崩落、下小川と中小川の主要道が寸断された。



小川小学校周辺 (28 日)

中小川地区の田万川沿いの堤防が決壊し、本郷から小島地区一面がみるみるうちに海ようになった。家屋が孤立し、車両も流され、翌日まで浸水していた。



特別養護老人ホーム 阿北苑 (28 日)

川からの濁流が建物の中に入り込んだ阿北苑。ベッドすれすれまで水が押し寄せ、入所者や職員 79 人が孤立したが、翌日ヘリで全員が無事救助された。



中小川地区の冠水 (28 日)

道路と田の境も分からないほどの浸水のため、小川公民館への通行ができなくなった。



吉ヶ原橋 (30 日)

上流の濁流が橋を越え、橋につながる道路が崩落。流された車も橋に引っかかった。下流約 5km の椿橋までの橋はすべて濁流にのまれ、その間の 15 区の公会堂（下小川）も跡形もなく流されてしまった。



下小川地区 (29 日)

小島地区の勝馬田八幡宮^{かつまた}周辺では、2m を超える浸水があり、田は見る影もなく、小屋も流された。



**大光寺橋
(28日)**

午前10時前の吉部下の志和田交差点付近。^{そうめき}蔵目喜川の氾濫により、大光寺橋の一部が崩壊した。



**蔵目喜川
(28日)**

午前9時前に蔵目喜川が氾濫。吉部上鈴倉のむつみ診療所裏の遊歩道にも濁流が押し寄せた。



**高佐下
県道13号
(28日)**

高佐下宮廻の^{みやまわり}高佐大橋付近の県道13号も冠水。午前11時を過ぎても冠水は続き、道路も見えない中を車が通行している。



**高佐大橋
(28日)**

午前10時頃の高佐下の中郷交差点付近。道路の浸水で動けなくなった遭難車両を救出に向かう消防レスキュー隊。

災害ごみの集積所

ボランティアの人たちや市職員が手伝い、浸水家屋から運び出し集積された家財や家電製品などの災害ごみ。



江崎キャンプ場(田万川野営場 8月7日)



須佐山根丁東地区 (29日)

7月28日、山口県付近に発達した雨雲が次々と流れ込み、早朝から昼過ぎにかけて、萩市の東部で猛烈な雨となりました。被災された多くの皆様にご心からお見舞いを申し上げます。

1時間の降水量が、須佐で138.5ミリと観測史上最大の雨量となり、28日午前9時20分からの3時間に7月の月降水量の平均値(281.6ミリ)を上回る301.5ミリを観測する記録的な豪雨となりました。気象庁からは「これまでに経験したことのないような大雨」と発表され、土砂災害警戒情報が発表されました。

市では災害対策本部(本部長:市長)を設置し、被災状況の把握に努めるとともに、災害派遣要請をはじめ、土砂災害・浸水現場での人命救助や被災者支援など、関係機関と連携し、災害復旧に全力で取り組んでいます。



国道191号の寸断

気象状況等

①警報 7月28日(日) 午前4時48分 大雨・洪水警報発表

②土砂災害警戒情報 7時17分

③最大雨量(下関地方気象台発表)

・時間雨量 138.5ミリ(須佐11時4分からの1時間)

・一日雨量 351.0ミリ(須佐)

被害状況

①災害対策本部の設置 7月28日午前8時

②人的被害

- ・死者 2人(上小川79歳女性、須佐84歳男性)
- ・行方不明者 1人(60歳代男性)
- ・負傷者 5人(須佐4人)

■住宅被害(地区別)

8月8日現在

	全壊	半壊	一部破損	床上	床下	地区合計
むつみ	0	0	9	16	38	63
須佐	15	30	50	310	180	585
田万川	16	16	6	245	154	437
(住家合計)	31	46	65	571	372	1,085
非住家	5	20	0	1	10	36
合計	36	66	65	572	382	1,121

行方不明者の捜索活動には、萩市消防・萩市消防団をはじめ、自衛隊や警察、海上保安庁などにより災害発生直後から行われました。

③住家被害(8月8日現在)

▼計 1121棟

・全壊 36棟

・半壊 66棟

・一部損壊 65棟

・床上浸水 572棟

・床下浸水 382棟

須佐・田万川地域の3〜4割の世帯が住宅被害を受けました。

④避難状況

▼避難勧告(最大時)

4521世帯9834人(須佐・田万川・むつみ地域ほか)

▼避難人数(最大時) 計 371人

・須佐地域 83人

・田万川地域 178人

・むつみ地域 110人

市では河川の氾濫や土砂崩れなどの危険があるとして、避難勧告を発令しました。

避難所は、多いときには17カ所に約370人が避難され、現在も避難生活を余儀なくされている方もおられます(8月6日現在43人)。

救助活動

小川地区の特別養護老人ホーム阿北苑では、入所者や職員が28日に床上浸水等により孤立し、連絡が取れない状況にありました。翌日の29日には県防災ヘリや近県ヘリ(広島県・福岡市・北九州市)の計4機により入所者52人、職員5人の計57人が萩ウエルネスパークに搬送され、その後市内の施設等へ無事搬送されました。

ライフラインの状況

①停電(最大時)

▼計 1017世帯

・須佐地域 75世帯

・田万川地域 942世帯

(7月30日夕方に全戸復旧)

①断水(最大時)

▼計 1500世帯 3000人

・小川地区 300世帯660人

(8月7日復旧)

・上田万地区 100世帯140人

(8月1日復旧)

・須佐地区 900世帯

(8月1日復旧)

・弥富地区 200世帯400人

(7月29日復旧)

被災地では近隣の9市から給水車の応援なども受け、断水地区を巡回するなどして、飲料水などを届けました。

③電話不通

・小川地区(一部の須佐鈴野川地区)

規模不明(8月9日復旧)

28日には須佐・田万川地域で固定電話・携帯電話がつながりにくい状況



田万川の氾濫（小川地区）



萩市集中豪雨災害義援金の募集

この災害により被害に遭われた方を支援するため、官民一体となった「萩市集中豪雨災害義援金募集委員会」（会長 野村興児萩市長）を立ち上げました。

皆さんの温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

■受付期間 8月6日～12月27日

※受付は各施設の執務時間。

①窓口での受付場所 本庁1階企画政策課、各総合事務所、見島支所、三見・大井・大島出張所

②募金箱の設置場所（22カ所） 本庁総合案内、教育委員会、各支所・出張所、市民館、市民体育館、市民病院、萩博物館、萩図書館

※義援金の領収書が必要な方は、義援金の受付窓口にお越しください。

③銀行振込・郵便振替

■受付口座

銀行名	支店名	口座番号	口座名義人名
山口銀行	萩支店	普通 5046806	萩市集中豪雨 災害救援義援金 萩市会計管理者 ひろむ 藤田 擴
萩山口信用金庫	萩支店	普通 0531452	
あぶらんど萩 農業協同組合	萩支店	普通 0036055	
ゆうちょ銀行	01290-1-80021		

※振込手数料は免除（金融機関窓口でご確認ください）。
ATM、インターネットでの振込等では手数料が必要。

■救援物資の受付

▷場所 本庁1階企画政策課

▷時間 土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分

▷受付物資 必要物資は随時更新のため、萩市公式ホームページを参照してください

■問い合わせ 企画政策課（25・3569）

交通関係

①主要道路の状況

・国道191号（阿武町惣郷～須佐間）道路崩落のため通行止め（8月5日から片側交互通行）

・国道315号（須佐～弥富・金山谷トンネル、片俣・割ヶ嶽トンネル）土砂崩れなどにより通行止め（7月31日に通行止め解除）

・県道13号萩津和野線（道の駅うり坊の郷～高佐方面）通行止め（7月31日から片側交互通行）

被災当初は、萩地域と須佐・田万

況にありました。小川地区では以降も固定電話の不通が続きました。

②鉄道の状況

・奈古駅～益田駅間 代行バス

8月4日に長門市駅～奈古駅間は運転再開しましたが、奈古駅～益田駅間はバスによる代行運転が続いています。

農林水産関係

①農作物の被害（8月6日現在）

▼計 2億3367万円

・水稻 約260ヘクタール、1億

川地域を結ぶ基幹道路をはじめ多くの生活道が通行止めとなり、被災地への交通が途絶しました。現在では復旧が進んでいますが、一部の道路では通行規制が残っています。

4571万円
・トマト 約2.8ヘクタール、4686万円
・大根 約9ヘクタール、2396万円
・大豆 約22ヘクタール、513万円
・その他 1201万円
小川地区の水稻に大きな被害。また、農地、農業用施設の被害は約1400件、約33億円。

②水産関係

・江崎漁港 水産加工場の冷蔵庫等の設備や原材料への被害など
・須佐漁港 育成施設への土砂流入によりアワビ稚貝への被害、護岸の倒壊など

一日も早い復旧・復興を目指して

水道や下水道などライフラインの復旧作業、給水活動や災害ごみの収集など、市職員も全力で取り組んでいます！



小川配水管(高岩橋)

手前の護岸が田万川の増水により流され、配水管が寸断。仮設水道管を電柱から下げて布設した。



給水活動(江崎地区)

岩国市水道局の応援による尾浦地区での給水活動。7市から給水車の応援も受けて給水活動を行った。



須佐浄化センター(8月7日)

国道191号が崩落し、その土砂が流入。埋没し稼働停止となったため、土砂の撤去作業を行った。



汚水引き抜き運搬活動(須佐地区)

須佐浄化センターが稼働停止のため、汚水をマンホールからバキューム車により引き抜き、益田市や田万川地域など近隣の下水道処理場へ運搬した。



須佐グラウンド仮置場(8月8日)

発生した災害ごみは膨大な量となる。現在ごみは須佐グラウンドを仮置場として集積している。



災害ごみの運搬作業(下小川地区)

職員やボランティアの手で、浸水家屋から出た被災ごみをトラックに乗せ、集積所へ運搬した。

支援の輪が広がる



△被災した家屋から荷物を搬出(須佐地区)



△家屋に入り込んだ泥を除去(小川地区)

全国からボランティアが参加

■延べ153団体(1463人)、
個人1026人 計2489人
(8月8日現在)

被災後すぐに全国各地のボランティアの皆さんから、被災住宅の復旧支援の申し入れが多く寄せられました。

7月30日には、市と萩市社会福祉協議会、山口県社会福祉協議会で、須佐地区に「萩市災害ボランティアセンター」を開設。ボランティアの皆さんは連日被災地に入り、作業を行っています。

ボランティアセンターに依頼の

あった家庭の中でも特に作業が難しい高齢者などの家庭を優先して対応し、暑い日差しの中、家屋に入り込んだ泥をかき出す作業や、家財の搬出などを行っています。

ボランティアの派遣を受けた70代の女性は「自分だけでは何もできなかった」と感謝していました。ボランティア参加者からは「休日しか来れないが、何かできればと思った」(30代男性)、「とりあえず車で来てみたが、思ったよりひどくてびっくりした」(40代男性) などと話していました。

激甚災害の指定へ



現地視察をする林芳正農林水産大臣

8月4日には安倍総理も県内の被災地を視察し、山口・島根豪雨災害の激甚災害指定に向けた作業を急ぐ考えを示すとともに、被災者生活再建支援法などの適用についても早期に結論を出し、復旧支援を行うことを表明、5日には萩市において「被災者生活再建支援法」の適用が決定しました。

また、農水大臣はじめ政府調査団も現地を視察し、早期の復旧に向け対策を講じていくと話しました。市としても、今後も復旧活動に全力で行うとともに、国・県にも強く働きかけ、早期の復旧と復興に向けて取り組んでいきます。

募集 萩市災害ボランティアセンター

- 内容 家屋の清掃、泥の除去、家財の搬出等
- 活動地域 須佐地域、田万川地域、むつみ地域
- 受付時間 午前8時30分～正午(毎日)
- 集合場所 旧奈古高等学校須佐分校(須佐中学校となり)
- 終了時間 午後3時
- 装備・持ち物
 - ・ケガ防止のため長袖・長ズボン、長靴、帽子、マスク(防塵のもの)、軍手、ゴム手袋、タオル、着替え
 - ・昼食、飲料水は事前に各自で準備
- その他
 - ・ごみや資材運搬のため、軽トラックや2tトラックなどをお持ちの方はご協力をお願いします。
 - ・熱中症対策を十分に行ってください。

■問い合わせ 萩市災害ボランティアセンター
(萩市社会福祉協議会須佐事務所内) 08387・62204 090・3177・4042(携帯)

総合相談窓口・り災証明の発行・ 各種支援や減免制度などのお知らせ

萩市被災者総合相談窓口

8月6日から、一日も早く安全・安心な生活を再建するための支援制度等に関する、現地での総合的な相談窓口を設置しています。

▽須佐地域
場所 須佐総合事務所2階会議室
▽田万川地域
場所 小川小学校1階ランチルーム

・相談時間 平日、土・日曜日 午前8時30分～午後5時
・相談内容 住宅、福祉、農林業などの生活支援に関する各種相談 ※県も相談窓口を併設し、市と連携して各種相談に応じています。
※このほか田万川総合事務所2階事務室に、県が相談窓口を設置しています。

り災証明関係

各種減免や保険金の請求等で「り災証明書」が必要な場合は、防災安全課、総合事務所、支所で発行します（無料）。

▼申請に必要なもの
防災安全課（25・3808）

①印鑑、②被害状況が分かる写真 ※既に職員が家屋の被害調査を行っている場合は、印鑑のみの持参で、被害状況写真の提出は不要です。

■問い合わせ
防災安全課（25・3808）

被災者生活再建支援法の適用

住宅が全壊、大規模半壊した世帯等については、申請により国の被災者生活再建支援制度が適用されます。

▽支給額
①住宅の被害程度に応じて、最高100万円（基礎支援金）
②住宅の再建方法に応じて、最高200万円を加算（追加支援金）

▼申請に必要なもの
①り災証明書、住民票など
②住宅の購入等に係る契約書など

■問い合わせ
福祉政策課（25・3550）

被災家屋の解体について

被害を受けた家屋について順次家屋調査を行っています。早い時期に解体を予定されている方は、各総合事務所地域振興部門へ連絡してください。

災害見舞金・援護資金関係

被災された方に見舞金を支給します。被害の程度等により対象とならない場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。

●災害救助法適用による救済措置
①災害慶弔金
災害により死亡された方のご遺族に対して支給します。

▽支給額
・生計維持者 500万円
・その他 250万円

②災害障がい見舞金
災害による負傷、疾病で重度の障がいとなった場合に支給します。

▽支給額
・生計維持者 250万円を上限
・その他 125万円を上限

③災害援護資金
被災により休業する事業所の従業員の方は、一時的な離職となる間、雇用保険失業給付を受けることができます。

詳しくは、お問い合わせください。

■問い合わせ
ハローワーク萩（22・0714）

①萩市災害り災者見舞金
死亡 5万円
入院 1万円
住宅損害 程度により1万円～5万円

②山口県災害見舞金
死亡 10万円
入院（1カ月以上） 5万円
住宅損害 全壊・半壊 10万円

■問い合わせ
福祉政策課（25・3550）

生活福祉資金

被災された高齢者や障がい者、低所得世帯に貸し付けます（無利子）。

①家財等 150万円以内
②住宅補修 250万円

※所得制限あり。

■問い合わせ
福祉政策課（25・3550）

被災事業主の方へ

被災により休業する事業所の従業員の方は、一時的な離職となる間、雇用保険失業給付を受けることができます。

詳しくは、お問い合わせください。

■問い合わせ
ハローワーク萩（22・0714）

被災された皆さまへ

住宅に関すること

被災により住宅に居住することができない方はご相談ください。

再建についての確認申請等手数料の減免や、住宅金融公庫の資金融資などもあります。

■問い合わせ

・建築課 (25・2314)
・住宅金融支援機構お客様コールセンター (被災者専用ダイヤル)
(0120・086・353)

税や保険料の減免など

市県民税・固定資産税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免

被災された方は、申請により税や保険料が減免される場合があります。

▼申請に必要なもの

・市県民税・固定資産税および各保険料の平成25年度減免申請書 (要押印)

・り災証明書

・被害状況がわかる写真など

※減免決定の結果は後日通知します。

■問い合わせ

・市県民税・国民健康保険料・介護保険料Ⅱ税務課市民税係
(25・3136)
・固定資産税Ⅱ税務課固定資産税係
(25・3485)

井戸水の水質検査

被災地で井戸水を飲用に使用されている方は、水質検査を実施し、飲用に適しているかの確認をおすすめします。

なお、水道給水区域外の地域にお住まいの方は、補助制度を利用できますので、詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ

水道管理課 (25・3390)

・後期高齢者医療保険料Ⅱ市民課
後期高齢者医療・年金係
(25・3239)

市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料の徴収猶予

被災により納期限までに市税等を納めることができない場合、申請により徴収が猶予される場合があります。

▼申請に必要なもの

・徴収猶予申請書 (要押印)
・り災証明書

・収入が著しく減少すると見込まれる資料 (帳簿) など

※7月31日納期限の市税等の納付が確認できない場合、8月20日に督促状が発送されますがご了承ください。

■問い合わせ

収納課 (25・3209)

国民年金保険料の免除

被災された方は、申請により国民年金保険料が免除される場合があります。

▼申請に必要なもの

・免除申請書、被災状況届 (国民年金保険料免除申請用)

詳しくは、お問い合わせください。

■問い合わせ

秋年金事務所 (24・2231)
市民課後期高齢者医療・年金係
(25・3239)

農地、農道・水路、住宅裏の崩土取り除き対策 農業用水確保対策

●崩土対策

被災した農地や農道・水路、住宅裏などの崩土を取り除く経費を補助します。

①業者からの重機借上料 (人件費・燃料代を除く)

▽補助額 上限20万円

②個人・法人所有の重機借上料 (人件費・燃料代を除く)

▽補助額 日額1万円 (上限5日間、協定・証明が必要)

③住宅裏の崩土を取り除くための業者委託

▽補助額 (委託料15万円) × 2分の1

●農業用水確保対策

被災による、農業用水確保のための揚水ポンプの借上・購入等の

経費を補助します。

①業者からの揚水ポンプ借上料

▽補助額 借上料の3分の2 (上限20万円)

※借上料は人件費・燃料代を除く。

②個人・法人所有の揚水ポンプ借上料

▽補助額 日額3000円 (上限9万円、協定・証明が必要)

③揚水ポンプの購入

▽補助額 購入費の3分の1 (上限3万円)

※購入後3年以上使用すること。

④水路閉塞箇所への仮設パイプ等の設置

▽補助額 資材購入費の3分の2 (上限20万円)

■問い合わせ

農政課 (25・4192)